

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		波の家魚住西放課後デイサービス					公表日	令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	国の指定した基準を満たしたスペースを十分に確保し、支援内容に合わせて配置を検討しています。	保護者へ周知できるよう、面談時に案内したり、見学会を検討したりしていきます。		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	国の定めた人員配置基準より職員は多く在籍しており、利用者様の状況によって、個別で対応ができるようにしています。	施設の見学会を取り入れ、日頃の活動の様子をご覧いただき、知っていただける機会を設けていきます。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	室内に階段があるため、上り下りがある際は、支援員が前後で必ず見ておくようにしています。また、掲示物を活用し、利用者が視覚的に理解しやすいようにしています。	引き続き安全面を考慮した支援を心掛けていきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	空気清浄機の設置や、随時窓を開けての換気を行っています。また、法人全体で美化月間を設け、施設以外の職員から清潔さをチェックしてもらうことで、職員の意識づけを行っています。また、毎日の清掃や、共有部分の消毒を行い、整理整頓を心掛け、利用者様に気持ちよく使っていただける空間作りを行っています。	清潔を維持し、心地よい環境を提供できるよう継続していきます。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個別で過ごすことができる部屋を用意し、利用者の状況により必要に応じて使用していただいている。	今後も状況に合わせて個別で対応ができるような環境作りをおこなっていきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	法人全体で半年に一度、業務改善の為のレポート提出があり、その中で挙がった意見は検討、改善をおこなっています。	今後も現状を継続していきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者の方から評価表に記入していただいたご意見を職員間で共有し、支援内容の向上や、業務の改善につながるようにしています。	今後も保護者の方からのご意見をお聞きする機会を設け、質の高いサービスの提供を行っていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	定期的に職員で話し合う場を設けたり、評価表を記入し、その中で挙がった意見は、検討、改善を行っています。	今後も職員の意見を基に、業務の改善を行っていきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	現在はおこなっておりません。	要望があれば今後外部評価の活用を検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	法人内の毎月の勉強会や、外部の研修会に参加し、全ての職員と共有することで資質の向上に努めています。	参加できない職員にも伝達する体制を整え、資質の向上に努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	職員間での話し合いの場を定期的に持ち、様々な活動が提案できる体制を整えています。カリキュラムの予定を毎月の通信を通して保護者に公表しています。	利用者に合ったプログラムを作成していきます。また、読みやすくわかりやすい通信を作成していきます。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	支援期間毎に保護者と利用者に面談を行い、支援内容の確認を行っています。また、職員間でも支援内容について意見を出し合い、支援計画を作成しています。	適切にアセスメントを行い、客観的に分析できるよう職員間での話し合いを継続して実施していきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員間で面談内容や利用者の特性などの情報を共有し、個々に合わせた目標を設定できるよう意見を出し合い検討を行っています。	引き続き職員が互いに意見を出し合い、個々に合わせた支援計画を作成していきます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	支援計画書を基に支援を行っています。また、職員間での情報共有を行い、一人ひとりに合った支援を行っています。	引き続き、適宜支援が計画に沿って実施できているか振り返りを行いながら支援をおこなっていきます。		

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	アセスメントシートを使用し状況を把握しています。また、その都度訂正や追記をおこない、現状に合わせた内容を職員間で把握できるようにしています。また、アセスメントを活用し、個々に合わせた支援を行っています。	日々の行動や様子をよく観察し、変化があれば本人や保護者に確認を行っていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	それぞれの項目のねらいに合わせて目標設定を行っています。項目ごとに利用者の課題と、課題に対しての支援内容を設定しています。また、面談時に保護者に対して説明を行い、利用者、保護者にわかりやすい課題や支援内容を設定しています。日々の支援内容についてはサービス提供記録に記載し保護者へお伝えしていきます。	今後も現状を継続していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	毎日話し合いを行い、その日の利用者の状況に合わせて活動プログラムを考えています。	引き続き、活動プログラムについての話し合いを定期的に行い、活動内容がより充実したものになるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	前月にカリキュラムの内容の計画を立てて、固定化しないように工夫しています。また、その日の利用者の状況に合わせて、毎日の療育内容を考え、職員間で意見を出し合いながら、定期的に見直しを行っています。	今後も職員間で意見を出し合い、現状に合った内容で取り組むことができるようになります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	個々の状況に合わせて、個別での活動と集団での活動の目標を作成し、それに沿って支援を行っています。	利用者に応じた支援内容の記載を心がけています。また、より一層個々の状況に合わせた計画作成と活動内容の工夫を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	前日の支援終了後に、支援内容の確認や利用者の様子を振り返り、翌日の役割分担を決めています。また、その都度利用者様が来所する前に話し合いをおこない、確認をしています。	今後も職員間で支援内容の共有、役割分担を徹底し、活動の目的やねらいが共有できるようにしていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	その日にあった出来事や、保護者からの伝達事項、利用者への支援内容については毎回記録を残し、振り返りを行って次回に活かすようにしています。また、職員間でも話し合い、改善点や気づいた事など、意見を出し合って共有しています。	支援の内容の振り返り、情報共有を通じて、より質の高いサービスとなるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	利用者の様子や支援内容については、記録を残し、職員間で常に意見交換しながら振り返りを行っています。また、保護者とはメールによる連絡をこまめにとるようにしたり、連絡ノート使って情報共有しています。	記録内容を充実させ、引継ぎができるように正確な記録を残して職員間で共有していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを行い、保護者から現状を確認して必要に応じて支援内容を見直しています。	モニタリングの情報を職員間で共有して、意見を出し合いながら、計画の見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	0	カリキュラム設定時に4つの基本活動を組み合わせられるよう職員間で話し合い、計画を立てています。また、実施後には適切に支援ができているか振り返りを行う時間を設けています。	より一層、活動の内容を充実させられるよう努めています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	自己選択ができるカリキュラムを設定しています。また、利用者に合わせて選択肢を提示する等、選択しやすい環境を提示しています。	引き続き個々に合わせた支援を行っていきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者や支援員が出席しています。偏った意見にならないよう、他の職員からも意見を聞き、利用者についての情報を共有した上で参画しています。	より一層利用者の状況把握を行い、会議が利用者に寄り添ったより良いものになるように努めます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	学校・サポート校、職業訓練校、子ども家庭センターとの会議を開催し、子どもの状況や支援内容などについて情報交換を行っています。	今後も関係機関と連携を図り、充実した支援につながるよう努めて参ります。
関係機関や保護者との連携						

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校と連携して支援を行えるよう、予定や変更点の共有、進路状況等の情報共有等を行っています。	引き続き連携を図っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	現在、該当の利用者はいません。	該当者がいる場合には情報共有に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	卒業後の進路先との連携として、保護者の了承の基、支援内容を情報共有することも可能です。	保護者からの要望があれば、今後も検討していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	定期的に研修会に参加し、その後の支援内容の確認や方向性の話し合いを行っています。	今後も必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	秋祭りでの活動や、施設外の近隣公共施設での活動の際に交流が持てる機会を作っています。	今後も交流の機会を増やす事ができるよう、様々な方法を協議していきます。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	代表者が協議会等へ参加して、伝達講習会を行い、講習会参加者から各職員へ報告を行っています。	今後も必要に応じて検討していきます。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	保護者との連絡ノートでのやり取りで、日頃から情報を共有できるようにしています。また何かあれば電話やメールでその日の様子を伝え、共通理解できるように努めています。	保護者とのコミュニケーションを日頃よりしっかりととり、情報が共有しやすい関係を作つておけるよう今後も努めています。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	保護者から相談があれば、職員との面談を行い、話し合いの場を設けています。また保護者会では保護者の方向けにペアレン特レーニングを行っています。保護者会後に参加者からの疑問点を挙げてもらうことで、解決策の案内をしています。	保護者からの疑問に応えられるよう保護者会の内容を充実させていきます。また、保護者からの相談の声をかけていただきやすい関係を作つておけるよう努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	施設の契約時や面談の時に保護者へ説明するよう努めています。また、問い合わせがあれば、その都度わかりやすくより丁寧な説明を行っています。	ご希望があれば、電話やメールでもお伝えしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	利用者との面談や保護者との面談を通して十分な聞き取りを行い、意向や願い、目標を確認しています。	引き続き、保護者や利用者の意向に沿った支援計画を作成できるよう努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	面談時に新たな課題について共有を行い、目標設定を行っています。また、適宜保護者に連絡をとり、支援の内容について共有を行っています。	今後もわかりやすい丁寧な説明を心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	最低でも半年に1回のペースで、面談を行うと共に、日頃から必要に応じて保護者と個別に話をする時間を作り対応しています。また、相談を受けた際は、職員で話し合い、適切な助言を行えるようにしています。	日ごろから保護者とのコミュニケーションを図り、相談しやすい環境づくりを行います。また、適切な対応ができるよう職員が知識向上に努めています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0	定期的に保護者会を開催し、保護者同士で交流ができる機会を作っています。	今後も保護者の方が保護者会について把握ができるよう案内を行い、定期的に保護者会を実施していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった際には職員で周知し、対応するようになっています。苦情内容の正しい把握と共に、その背景の適切な把握に努め、苦情解決に向けて迅速に対応できるようにしています。また、改善策についても利用者、保護者にお伝えするようにしています。	引き続き迅速な対応を行っていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	毎月、カリキュラムの予定や活動内容の報告を記載した通信を発行してお渡ししています。また、週に1度ブログを更新し、施設での様子を発信しており、ブログの更新時にはメールで保護者にお知らせしています。	わかりやすく読みやすい文面で通信やブログを作成していきます。

保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報などが記載されているものは鍵付きのロッカーや保管しており、施設外に持ち出さないことを徹底しています。個人情報の記載がある書類は、破棄する際はシュレッダーを使用しています。また、パスワードのかかったパソコンを使用し、個人情報の取り扱いには十分に注意しています。書類は二重確認を行い、正確に管理を行っています。	引き続き取扱いに十分に留意していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	必要に応じて口頭だけでなく、文章やメールでも保護者へ説明を行っています。また、利用者に対しても適切な伝達方法を考え、一人ひとりに合わせた伝え方を工夫しています。	より一層理解してもらいやすいよう、伝え方を検討し、実施していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0	秋祭りを開催し、事前にポスター等で案内した上で地域にも来ていただける機会を作っています。	事前のポスター案内等、当日までの運営の案内を通して、より一層事業の周知を図れるよう努めています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	感染症対策として、クレベリンやアルコール、空気清浄機を設置しています。避難所についてはお手紙を配布し、お知らせしています。各マニュアルを作成し、職員間で周知しています。	保護者への周知徹底は完全ではないため、面談や契約時にご説明したり、案内パンフレットに掲載する等、保護者へ周知できるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年間を通して計画を立て、月に1度、火災、地震、水害、不審者対応等を想定した避難訓練を行っています。また、必ず振り返りを行い、法人全体のミーティングで反省点を報告し、次に活かしています。	引き続き状況に応じた対応ができるよう避難訓練を実施し、災害に備えていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	施設利用開始時に状況を確認し、記録に残しています。また、事前に施設でのてんかん発作が起きた際の対応等を保護者に確認し、職員間で情報共有をしています。服薬が変更となった際にはお知らせいただきたり、服薬時は職員から保護者へ連絡を行う等、連携を図っています。	引き続き連携を図っていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	施設利用開始の際に、必ずアレルギーに関する確認を行っています。アレルギーのある使用者に対しては、保護者の指示のもと、対応できるようにしています。	今後も現状を継続し、保護者と相談しながら、対象の利用者には適切に対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	研修や訓練を行っています。日々の安全確保の他、施設内の身体を動かす活動や外出の活動の前には、職員間で安全面について検討を行っています。	安心して活動できるよう安全面に細心の注意をはらって支援していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	緊急連絡先をご記入いただき、迅速に連携を図れるよう活用しています。安全確保について、その都度メールや電話等でお知らせをしています。	保護者への周知が完全ではないため、面談や契約時にご説明したり、案内パンフレットに掲載する等、保護者へ周知できるようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハット事例集は施設で作成しています。気になることがあれば、職員間で共有した上で、今後の対応を話し合い、細かく記録を残すようにしています。	今後も記録や職員間で情報共有を行い、再発防止や事故を防ぐ工夫を検討していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	数か月に一度、虐待についてのミーティングを行い、日頃の支援内容の振り返りや、具体的な事例を挙げて意見を出し合い、虐待防止に努めています。また、法人全体で虐待に関する研修を行っています。	今後も現状を継続していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	現在、身体拘束は行っていません。	今後も様々な方法を検討することを怠らず、やむを得ず拘束を行う場合は、保護者と相談した上で、支援として取り組んでいきます。

## 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	波の家魚住西放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2024年8月8日 ~ 2024年8月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2024年8月8日 ~ 2024年8月21日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年9月27日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	人員配置を法定基準より多く配置している。	より多くの目で、日々の利用者の様子を観察し、変わった様子がないかなど、微妙な変化にいち早く気づけるよう人に員を多く配置している。また、複数の職員がいる事により、より多角的な視点での見守りや、支援方法の検討を行えるようにしている。	職員間での情報共有をより一層行い、個々に合わせて支援内容を相談しながら、より各利用者に適切な支援ができるようにしていく。
2	秋祭りを通して地域との交流を図っている。	秋祭りでの出店や製作物の展示を通して、放課後等デイサービスでの活動の様子や利用者の様子を地域の方に見ていただけたり関わられる機会を設けている。また、ポスターの掲示等で案内を行ったり一般開放することで、地域の方にも知っていただき、交流できるようにしている。	今後も引き続き利用者がやりがいを感じたり、地域の方に興味を持ってもらえるような秋祭りを企画していく。また、活動している方と地域の方が楽しみながら交流を図れるよう内容の検討を行っていく。
3	広報以外に、ブログを定期的に発信し、施設での様子をお伝えしている。	利用者の活動の様子を写真付きで定期的にブログで発信することで、放課後等デイサービスでの様子を知りたい方へ興味関心をもっていただけるようにしている。写真を利用する際には、顔を出さないことや名前が見えないように十分に配慮している。	引き続き個人情報流出に留意し、利用者の普段の様子がより詳しくわかり、また、読んでいて楽しいものになるよう、文章表現や写真の取り方を工夫していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通所手段に親の支援が必要な方は利用が難しい。	自力通所に限定しているため、公共交通機関の利用等を含め、ご自身で通所ができる方の利用となっている。	利用者が安全に自力通所する為に、通所の際に起こりうる様々な問題を想定したり利用者や保護者の方と話し合いながら安心して通所できるよう利用者にあった自力通所の方法を探していく。
2	高校生の同世代の方との関わりが主で、他の年齢層の方と関わる場面が少ない。	利用者の年齢層が高校1年生から3年生のみとなっている。	秋祭りでの一般の方や地域の方との交流や、買い物レクリエーション、公共施設の利用等を通してより多くの年齢の方とも交流がもてるようにしていく。
3			

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		波の家魚住西放課後等デイサービス						
		公表日 令和7年2月1日						
		利用児童数 16名 回収数 16名						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	1	1		今後も引き続き活動内容にあわせてスペースを確保し、安全に利用できるようにしていきます。また、保護者へ周知できるよう、面談時に案内したり、見学会を検討したりしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14	0	0	1	毎日の状態を見ていないので、よくわかりません。 少し少ないかも知れないかも。	定められた配置基準より多く配置している事を周知していきます。施設の見学会を取り入れ、日頃の活動の様子をご覧いただき、知っていただける機会を設けていきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	2		より丁寧なアセスメントを心掛け、利用者の特性に応じた情報伝達を行います。建物の構造上バリアフリー化が難しい為、階段の見守りや道路への飛び出し等、安全面を考慮した支援を心掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	0	0	1		毎日の清掃や、共有部分の消毒を行い、整理整頓を心掛け、利用者様に気持ちよく使っていただける空間作りを行っていきます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	12	4	0	0		職員間で支援が適切かを話し合うことで、個々の利用者に応じた支援を行っていきます。また、保護者の方へ周知できるよう情報共有を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0		今後も現状を継続し、サービス提供記録を通じて日々の支援内容や目的を保護者にお伝えしていきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15	1	0	0		本人と家庭との連携を図り利用者個々のニーズに合った計画が作成できるようにしています。また、内容の説明を行い不明な点をなくし、本人と保護者が納得いく計画を作成するよう努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	16	0	0	0		今後も現状を継続し、面談時に保護者に対して必要な項目の設定や支援内容の記載について確認をしていきます。また、利用者や保護者にわかりやすい課題や支援内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	3	0	0		日々の振り返りを徹底し、支援内容が適切かを支援員で十分に話し合い、一人ひとりに合った支援を行っていきます。支援内容と本人の様子について、サービス提供記録を用いて保護者への周知を行っていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	0		活動プログラムにバリエーションを持たせられるよう職員間で意見を出し合いながら取り組み方を工夫していきます。また、活動の目的や内容を日々のサービス提供記録を通じて具体的にお伝えしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	3	2	5		同世代の他施設の方との交流の機会は設けておりますが、地域との交流は現状できておりません。ご要望があれば検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0		引き続き丁寧に説明を行い、わかりやすくお伝えできるよう努めて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	0	0		疑問点が残らないよう、わかりやすく丁寧な説明をしていきます。ご希望があればメールや電話でも隨時支援内容についてお伝えしていきます。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	1	3	面談時等に年間の予定をお伝えし、参加していただきやすいようにしています。保護者からの疑問に応えられるよう保護者会の内容を充実させていきます。また、保護者からの相談の声をかけていただきやすい関係を作っていくよう努めます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	0	0	保護者とのコミュニケーションを密に行い、情報が共有しやすい関係を作りたいけるように努めています。また、面談の機会等に日々の状況を伝え、共通理解ができるように取り組んでいます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	0	0	日頃から保護者とのコミュニケーションを図り、相談しやすい環境づくりを行います。また、適切な対応ができるよう、職員が知識向上に努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	3	0	0	面談時や電話やメールを通して、利用者や保護者の考え方や意向を十分にお伺いしています。職員間で話し合いを行うことで適切な支援ができるように努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	0	7	今年度は1度保護者懇談会を実施しました。全保護者が参加しやすい環境を設け、保護者会を通して保護者同士が意見を言いやすい環境を設定し、相談しやすい関係づくりに努めています。また、きょうだいへの支援についてご要望があれば検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	3	0	2	相談しやすいよう相談窓口の周知を行っています。要望に応じて様々な窓口に繋げられるようにしています。また、記録を残し、職員間で周知することで迅速に対応できるようにしています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	1	保護者と本人により理解してもらいたいよう、個人に合わせた伝え方を工夫し、必要に応じて個別に対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	3	0	0	会報を読みやすく作成し、ブログを通しても活動の様子が伝わるようになります。また、ブログの更新や活動内容の変更についてその都度案内を行います。引き続きお子様や保護者の方へ周知できるようお伝えしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	0	パスワードのかかったパソコンの使用や、鍵付きのロッカーでの書類保管など、個人情報の取り扱いには十分注意しております。また、書類は二重確認を行っておりまます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	0	面談・契約時にご説明したり、施設に来所した際に手に取りやすい場所にマニュアルを置く等、保護者に周知できるようにしています。
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1	0	0	様々な状況に応じた対応ができるよう月に1度避難訓練やミーティングを行い、災害に備えています。また、事前・事後指導にも力を入れ、災害についての知識も習得できるようにしています。保護者の方により一層周知できるようにしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1	0	0	安全マニュアルを用いて訓練している事を周知できるようにしていきます。また、活動前に職員間で安全面について検討を行い、大切なお子様を安心して預けていただけるよう安全の確保を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	0	2	緊急時対応マニュアルに沿って迅速な対応を行っていきます。可能な限り電話で状況や経緯をお伝えしていきます。また、職員間で情報共有や対策についての話し合いを行い、再発防止に努めます。

満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1	1	0	慣れるのに時間がかかるため、1年経ってやっと安心して通所できるようになりました。たまに不安なこともありますけど先生たちが良い方たちばかりで安心です。	安心して通所していただけるよう信頼関係づくりに努めています。また、利用者や保護者と相談しながら、利用者に合った環境を提供できるように努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	3	1	0	先生たちが良い方たちばかりなので安心していけてます。とても楽しく過ごしています。土日は平日が待ち遠しがっています。	様々なカリキュラムを設定し、より充実した活動内容を提供できるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	0	体調が悪いことが多い、その都度細やかに対処していただき、感謝しています。本人の状況・状態に合わせて、きめ細やかな配慮・対応をしてくださつてありがとうございます。体調を崩しやすいけれど丁寧に対応していただき感謝しています。	日ごろから利用者や保護者と連携を取り、利用者の目線に立ったわかりやすい情報伝達や支援を行っていきます。また、適切な対応ができるよう職員の資質向上に努めています。